

温故知新 (古代国家のあゆみ)

No. 17

710年 奈良に [] をつくり、都を移す。

唐の都 () にならう。

↓

↓

() 時代のはじまり

平城京

- () のような道路
- 京の北部に平城宮があり、天皇の住む内裏や役所の建物
- 京の内部には、貴族の大邸宅や唐風の寺院
- 民衆は、狭い土地に掘立柱の家に住む
- 平城京と地方を結ぶ道路⇒⇒ () がおかれた。

都には、() がもうけられ、

地方の産物や貴族に与えられた布製品などが交換された。

708年、朝廷は、貨幣「 」をつくり広めようとした。

が、機内以外では広まらず、稲や布などが代わりに使われていた

聖武天皇が即位した頃

↓ • 皇族や貴族の争いが激しくなる。

↓ • 凶作がおこる。

↓ • 伝染病がはやる。

↓

() の力で争いや災いをなくそう

• 諸国に () ・ () を建てる。

• 都には、() を建て、高さ16mの () をつくった。

630年 遣隋使に続いて、[] を派遣

• 留学生や留学僧も加わる。

• 唐の律令・仏教・新しい文化を日本に伝えた。

894年までの間、十数回荒海を越えた。

(しばしば難破・漂流した)